

婦人週間とは

昭和21年4月10日に 日本女性は はじめて国会議員を選挙し 男性と同じく 政治に参加することになりました

この日を記念して 労働省では 昭和24年以来 4月10日から1週間を“婦人週間”として 婦人の地位を高めるための運動を主唱しています

このリーフレットの増刷・転載を希望されるむきは 労働省婦人少年局 または都道府県庁所在地にある婦人少年室にご連絡ください

1973. 2

日本を考える

— これからの社会と女性の役わり —



第25回 婦人週間 4月10日～16日



労働省婦人少年局

リーフレット No. 128

いま わが国では 従来の経済優先の
傾向に対する反省が強まり

人間尊重 福祉優先の新しい秩序への
要望が高まっています

そして

人間性豊かな社会 が

求められています

その新しい社会の創造に

女性も参加しましょう

新しい社会のビジョンについて

それぞれの立場で考えましょう

そして

その実現のため

実行計画を

積みあげていきましょう

これからの社会と女性の役わりを考える——あなたのビジョンは……

たとえば 次のようなことから について
あなたは どのように考えますか

◇日本の社会では 人口の高令化が すすんでいます

- かつての社会を支えてきた人々——老人をどのようにまもり
その能力をどう活かすか
- あなた自身の老後の設計は？

◇主婦の職場進出が ふえています

- 育児など家庭生活との調和をはかるためには？
- 女性が職場で能力を十分に発揮するには？
- 女子の職業教育はどうしたらよいか

◇余暇の大衆化が すすんでいます

- 余暇時間の増加に対処した新しい家庭管理は？
- 充実した余暇活動のための社会環境はどのようなものか

◇地域社会の激しい変ぼうが すすんでいます

- 新旧住民の間によい交流・協調などを育てるには？
- 地域社会の文化を高めるには？
- よい環境を保つためにはどのような努力が大切か